山歩３２たより２６年２月号　２６年２月２４日実施案内

曽我山ハイキング

ウメの香漂う日だまりの丘陵へ

日帰り　歩行時間＝2時間35分

曽我丘陵（そがきゅうりょう）

▲328m（不動山）　神奈川県

弁当不要です。

曽我梅林からハイキングコースとなる丘陵を見上げる

実施日　　平成２６年　２月２４日（月）

集合場所・時間

曽我兄弟発願の像

深谷駅南口	６時０５分
籠原駅南口	６時１５分
勤労会館入口	６時２５分
熊谷駅南口	６時３０分
吉岡郵便局前	６時４６分

曽我兄弟の墓がある城前寺

初心者向け里山ハイキング

持ち物・荷物チェック表　　□弁当持参　　□に☑をいれる。

弁当持参です。

衣類

	防寒着（レインコート代用 OK）
	着替え
	帽子
	手袋（防水・滑り止めある物）

小物類

	ペーパー類（テッシュ・ウエットテシュ）
	タオル
	薬品（病院で処方されてもの）、常用品
	保険証（コピーOK）
	ゴミ袋

行動用品

	雨具
	ザックカバー
	水筒（ペットボトル）
	行動食（おやつ）
	食料（弁当）
	時計
	筆記用具
	ストック（杖）
	懐中電灯（ヘットライト）

あったら便利なもの

	スパシュウ		ホイッスル
	ナイフ		虫除けスプレイ
	携帯電話		ライター
	地図		洗面用具
	コンパス		非常食
	ガムテープ（補修用）		敷物

曽我山ハイキングシミレーション

①　行きバス運行

バス路線		距　離		所要時間	経過時間
深谷駅南口		3km	停車･出発	6分	6 時 05 分
籠原駅南口		6km	停車･出発	10分	6 時 15 分
勤労会館入口		5km	停車･出発	10 分	6 時 25 分
熊谷駅南口		3km	停車･出発	5 分	6 時 30 分
吉岡郵便局		3km	停車･出発	7分	7 時 46 分
東松山 IC		12km	通過	25分	8 時 00 分
			関越自動車道		
練馬 IC		34km		24分	8 時 40 分
東京 IC		17km		35分	9 時 15 分
			東名自動車		
大井松田 IC		64km		64分	10 時 30 分
梅の里センター	下蘇我駅前	7km	到着	16分	10 時 50 分

バスは　曽我みのり館・**相和農産物販売所　へ回送**

② 帰りバス運行

バス路線		距　離		所要時間	経過時間
相和農産物販売所		0	回送・出発	0	17時00分
大井松田 IC		3km	通過	5分	17時10 分
			休憩	6分	17時20分
東京 IC		64km	通過	10分	17時45分
練馬 IC		17km	通過	10 分	18時00分
			休憩15分		
東松山 IC		34km	通過	35分	19時00分
吉岡郵便局		12km	停車・出発	25分	19時25分
熊谷駅南口		3km	停車・出発	15分	19時40分
勤労会館入口		3km	停車・出発	10分	19時50分
籠原駅南口		5km	停車・出発	10分	20時00分
深谷駅南口		6km	停車・出発	10分	20時10分

③ ハイキング

ポイント	標　高	距　離	備　考	所要時間	経過時間
梅の里センター	37m	0		0	11 時 00 分
中河原梅林	40m	900m		15分	12 時30分
			WC・昼食		
城前寺	45m	1000m	WC	20分	12時50分
鞍部	310m	2300m		60分	14時20 分
不動山	328m	250m		10分	14時40分
鞍部	310m	250m		10分	15時00分
浅間山	305m	1000m		30分	15時50分
相和農産物販売所	205m	1500m	WC	30分	16時40分
（車道）	計	6340m		2 時 50 分	

曽我山（そがやま）

城前寺付近から望む曽我山

山麓に梅林が広がる曽我兄弟ゆかりの里から、酒匂川左岸に続く丘陵をあるく

328m
神奈川県

歩行時間	歩行距離	標高差
3時間10分	8.2km	308m

問合せ先

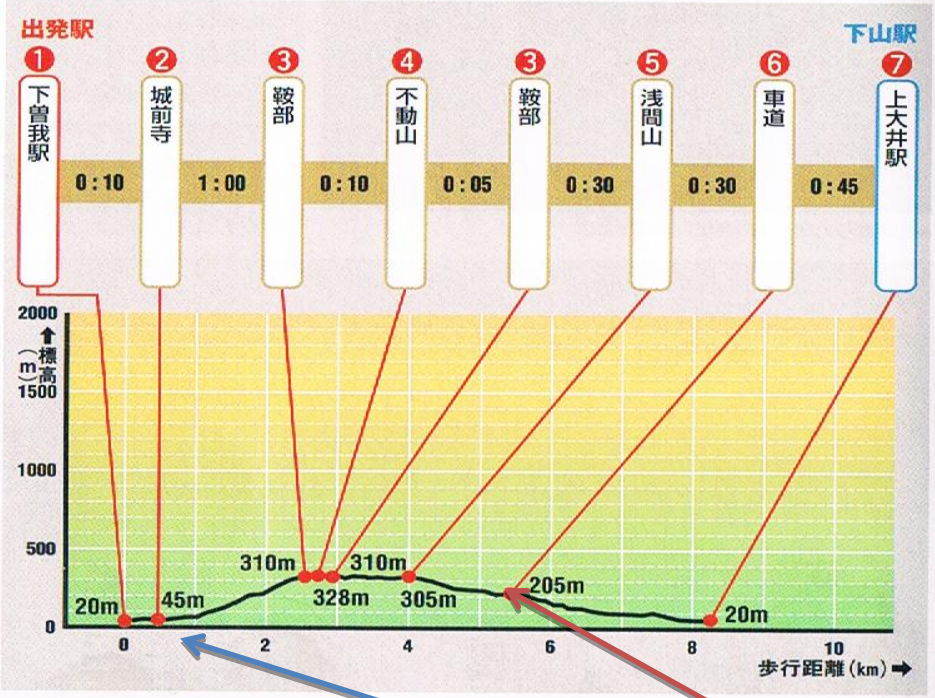
大井町産業観光課
☎0465-85-5013

小田原市観光課
☎0465-33-1521

小田原市観光協会
☎0465-22-5002

参考地図

「小田原北部」

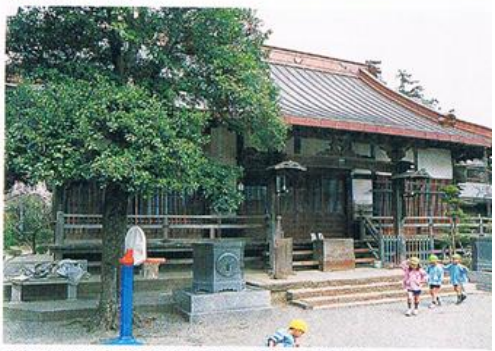


コースガイド

御殿場線が国府津（こうづ）駅を出発すると、左手の車窓に箱根外輪山の明神ケ岳や明星ケ岳、その先に富士山が大きく見えてくる。その雄大な景色に気ををとられて、あまり気が付かないないのが車窓右手の景色。右手の車窓には、小田原名物の梅干しの原料になる梅林が広がり、その背後に小高い丘陵地が続いている。国府津駅から松田駅にかけて南から北に続く、この丘陵地が曽我山である。曽我山という独立峰はなく、曽我山は南から不動山、浅間山とつづく丘陵地を指しての総称である。

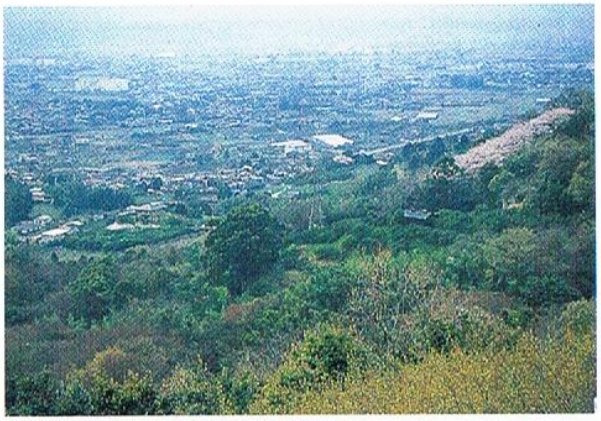
梅の生産地である曽我の町は、2月になると満開の梅林が一般に開放される梅祭りでにぎわう。春になるとコース途中のミカン畑にはミカンの花が咲き、11月になると完熟したミカンが深い緑のなかに黄色く輝く。また、曽我の町は日本三大仇討ちのひとつ、曽我兄弟の仇討ちゆかりの地でもある。建久4年（1193）5月28日、源頼朝が催した富士の裾野の巻狩りの夜、兄弟は父の仇、工藤祐経を討ち果たした。このとき兄弟は、松明のかわりに傘を燃やして使ったとの故事が残されている。曽我氏の菩提寺、城前寺ではこの故事にちなんで毎年5月28日に「曽我の傘焼まつり」が行われる。

❶**下曽我駅**（しもそがえき）前の商店街を進み、県道を左折してひとつ目の信号を右に登っていく車道に入る。信号を渡った正面に宗我神社の大きな鳥居があるので、そのまま鳥居をくぐって山に向かう道に間違って入りやすいが、コースは鳥居の右手の車道だ。コンクリート舗装の坂道を登って行くと、右手にこんもりとした森に囲まれた曽我氏の菩提寺❷**城前寺**（じょうぜんじ）が現れる。


▲故事にちなんで「曽我の傘焼まつり」が行われる城前寺

ハイキングのスタート地点　梅林から
バスで移動

ハイキングの終点地　バス回送　バスに乗車



▲尾根に近くなると麓の展望が広がる

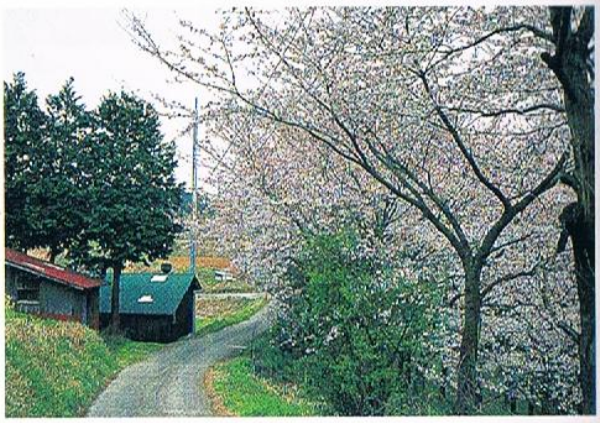
城前寺は、曽我兄弟が育った曽我城の大手前に立っていることからこの名前となった。めでたく仇討ちをはたした兄弟の遺骨を叔父の宇佐美禅師がこの地に庵を結び、菩提を弔ったことが寺のはじまり。境内には、十郎、五郎の曽我兄弟のほか父祐信、母満江御前の供養墓や曽我兄弟ゆかりの碑が立っている。なお、４人の墓地のある墳丘は曽我城の土塁跡である。

六本松峠への道を右に見送り、そのまま農家の間の道を進むと舗装道路の傾斜がきつくなる。両側がミカン畑の農道を息をととのえながら登っていく。登るにしたがって山麓の景色が大きく広がってくる。

▲無人駅だが、整備されている上大井駅前

サブコースCheck!

曽我山の丘陵歩きの終了点から車道をあるかず、上大井駅に向かうコースがある。車道出合いにある「いこいの村あしがら」から続く、**富士見塚ハイキングコース**だ。上大井駅までは多少まわり道になるが、このコースは指導標もきめ細かく設置された、すばらしい散策路となっている。コースがたどる森は、野鳥の森にもなっていて、春先から初夏にかけてはさまざまな野鳥のさえずりが楽しめるところだ。了義寺を経由して紹介コースと途中で合流するコースは、全長２キロほど、上大井駅までは50分ほどの行程になる。双眼鏡を持って歩いてみよう。



▲ところどころに展望がひらける丘陵上の道

酒匂川やその先に連なる箱根外輪山の景色に一息入れながら登ると、舗装された農道はやがて山道になる。スギやヒノキの植林が現れると、すぐに尾根の❸**鞍部**に着く。鞍部で、道はまっすぐに北に下る道と、左に尾根上を進む道に分かれるが、不動山へは右に入る山道を行く。不動山の北側を巻くように付けられた山道を進むと、右にテープの目印があり、指導標で山頂へ登る入口と分かる。右上の山頂をめざして、ヤブを掻き分けるようにしながら踏み跡を忠実にたどると、スギ木立に囲まれた❹**不動山**山頂に出る。山頂表示のある小さな広場の真ん中に三角点がある。曽我祐信が寄進したと伝えられる不動明王の石祠があるはずだが、草に覆われて見当たらない。樹林に囲まれて展望の楽しめない山頂は、訪れる人も少ないのか、はっきりした道はないが、迷う心配はない。

一旦、❸**鞍部**まで戻って、尾根上の道を直進する。しばらく植林に囲まれた展望のない道を進んで行くと、アンテナの立っているピークに出る。ここを過ぎると右手の視界が開け、丹沢の山々が目の前に横たわっている。尾根上の五差路を尾根通しに直進して、樹林帯を抜けたところが❺**浅間山**である。山頂には、大きな水道のタンクとアンテナが立っている。

浅間山から尾根上をさらに進み、右下にテニスコートが見えてくると❻**車道**は近い。車道を渡ったところに農産物販売所や立派な「いこいの村あしがら」がある。車道を左に下り、山里の景色を楽しみながら45分ほどあるくと御殿場線❼**上大井駅**に着くことができる。

立ち寄り情報

「いこいの村あしがら」の前にある**相和農産物販売所**では、地元産の新鮮な野菜や果物を販売しているのでみやげに良い。ミカン畑の多い土地柄、ネーブルやきよみなどふくろ入りで販売されているミカンの品種は多い。このほかにも、大根やブロッコリーなど、美味しそうな季節の野菜がたくさん並んでいる。☎0465-82-3751、8～15時、祝日を除く月曜休。

▲相和農産物販売所

耳寄りコラム

曾我兄弟ゆかりの曾我山に登るなら、城前寺もゆっくり拝観したい。寺の境内は併設されている幼稚園の遊び場になっているので子供達のにぎやかな声が絶えないが、寺の裏手にある曾我一族の墳丘周辺は、おごそかな雰囲気が漂っている。境内には一族の供養墓のほかにも、兄十郎が大磯の虎御前を偲んで、腰をかけて笛をかなでたと伝えられる忍石などがある。

▲寺の裏手にある曾我一族の供養墓

梅林から眺める富士山は最高！

しだれ梅も見頃を

小田原梅まつりは２月１日（土）～３月２日（日）まで開催

２月２４日（月）曽我山ハイキング　参加費負担額

交通費　　単位　円

項目	金額	備考
バス料金	78000	ドライバー２人
消費税	3900	
有料料金	10500	
駐車場料金	２０００	
合計	９４４００	

単位　円

参加者数	交通費負担額	資料・調査・雑費	合計	合計負担額
15	6160	300	6460	6500
14	6600	300	6900	7000
13	7107.692308	300	7407.692	7500
12	7700	300	8000	8000
11	8400	300	8700	9000
10	9240	300	9540	10000

※　高速乗合バス及び貸切バスの交替運転者の配置基準が

平成 24 年４月 29 日に発生した関越自動車道における高速ツアーバス事故を受けて国土交通省は、この度、新たに高速乗合バスの交替運転者の配置基準を定めるとともに、貸切バスの交替運転者の配置基準を改正しました。これらの配置基準は、平成 25 年８月１日（一部は平成 26 年１月１日）から適用されます。今までドライバーの束縛時間が、１６時間以内は１人乗車で良かたのですが、１月より、労働基準規則の改正もあり、一人のドライバーのバスに乗車時間が９時間までとなり、１月より９時間超えるので、ドライバーが二人とないました。

大手バス会社だけでなく中小の会社も、ドライバーの健康管理等運輸省・厚生省の指導が強化され、

バス料金が高くなりました。

26年2月曾我山ハイキング参加予定者名簿

No	山歩 No	氏　　名	性	住　所	乗車地	備　　考
1	4	深田　忠	男	深谷市	深谷駅南口	
2	4	勝本　清美	女	深谷市	深谷駅南口	
3	3	吉田日出子	女	熊谷市	籠原駅南口	
4	2	鯨井　幸子	女	熊谷市	勤労会館入口	
5	ゲスト	永澤美代子	女	熊谷市	熊谷駅南口	
6	2	岩瀬　秀夫	男	熊谷市	熊谷駅南口	
7	1	新井　康継	男	行田市	熊谷駅南口	
8	1	田辺　辰好	男	鴻巣市	熊谷駅南口	
9	1	馬場　均	男	熊谷市	熊谷駅南口	
10	1	木村　弘子	女	行田市	熊谷駅南口	
11	2	武笠　正夫	男	熊谷市	熊谷駅南口	
12						
13						
14						
15						